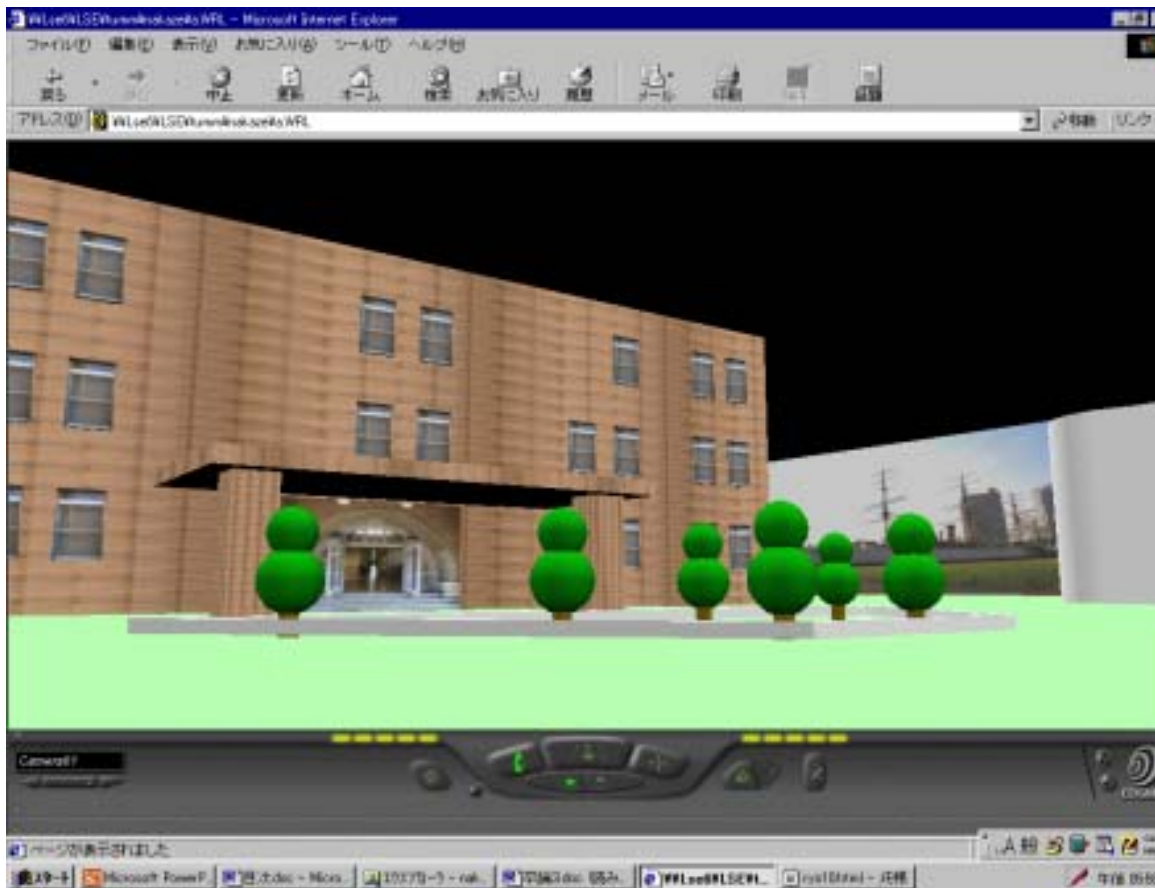


VRMLを用いたインタラクティブ 大学案内システムの構築



97742
中陳 亮太

情報提供手段の比較

・従来の案内システムの問題点

	利用者側				製作者側			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	利用数	料金	提供時間	自由度	総コスト	提供時間	対話性	臨場感
パンフレット	○	◎	×	○	×	×	×	△
電話	△	○～△	◎	△	○	◎	◎	×
ビデオ	×	◎	×	○	×	×	×	○
学校訪問	△	×	○	×	◎	◎	◎	◎
従来のHF	◎	○～△	◎	◎	△～◎	△～○	△	△

研究目的

- 多くの人に ...ホームページ
- 面白く、わかりやすく
利用しやすい
対話性を持った ...VRML

大学案内システムを構築する

VRML

- インターネットにおいて3次元のバーチャルワールドを(仮想現実世界)を作り出すための言語。
- OSに依存しない。
- プラグインが必要
- 無料

コンテンツ

- ・対象は東京商船大学
- ・大学案内システム
- ・大学沿革
- ・学部紹介
- ・3次元大学案内
- ・大学までのアクセス
- ・フォトによる大学史跡案内
- ・アンケート

ホームページ

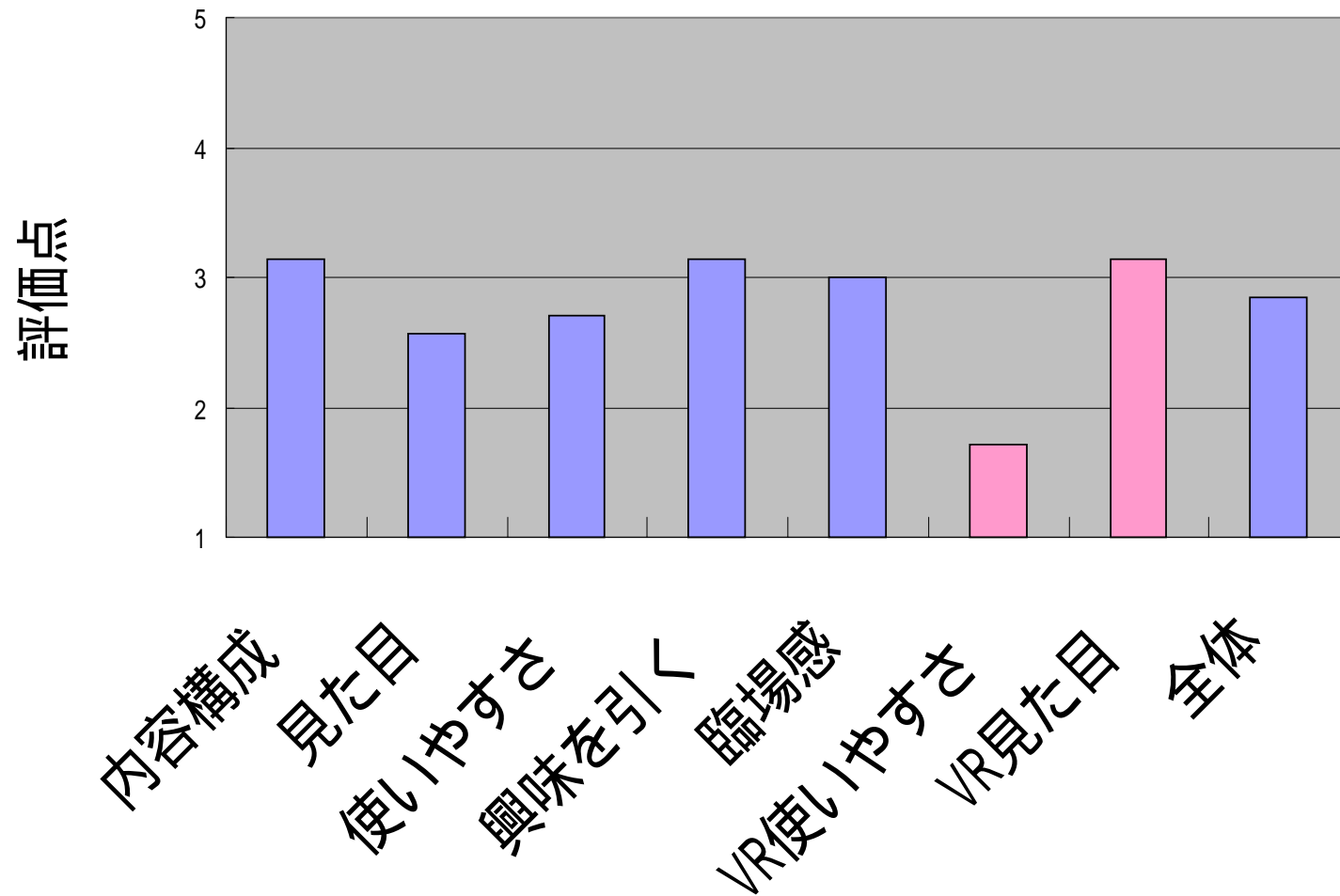


VRML作成方針

- 平面で表現しにくい部分を表現。
- ネットワークを使用しているのでデータ量をできるだけ少なくする
- カメラを設置

アンケート結果1

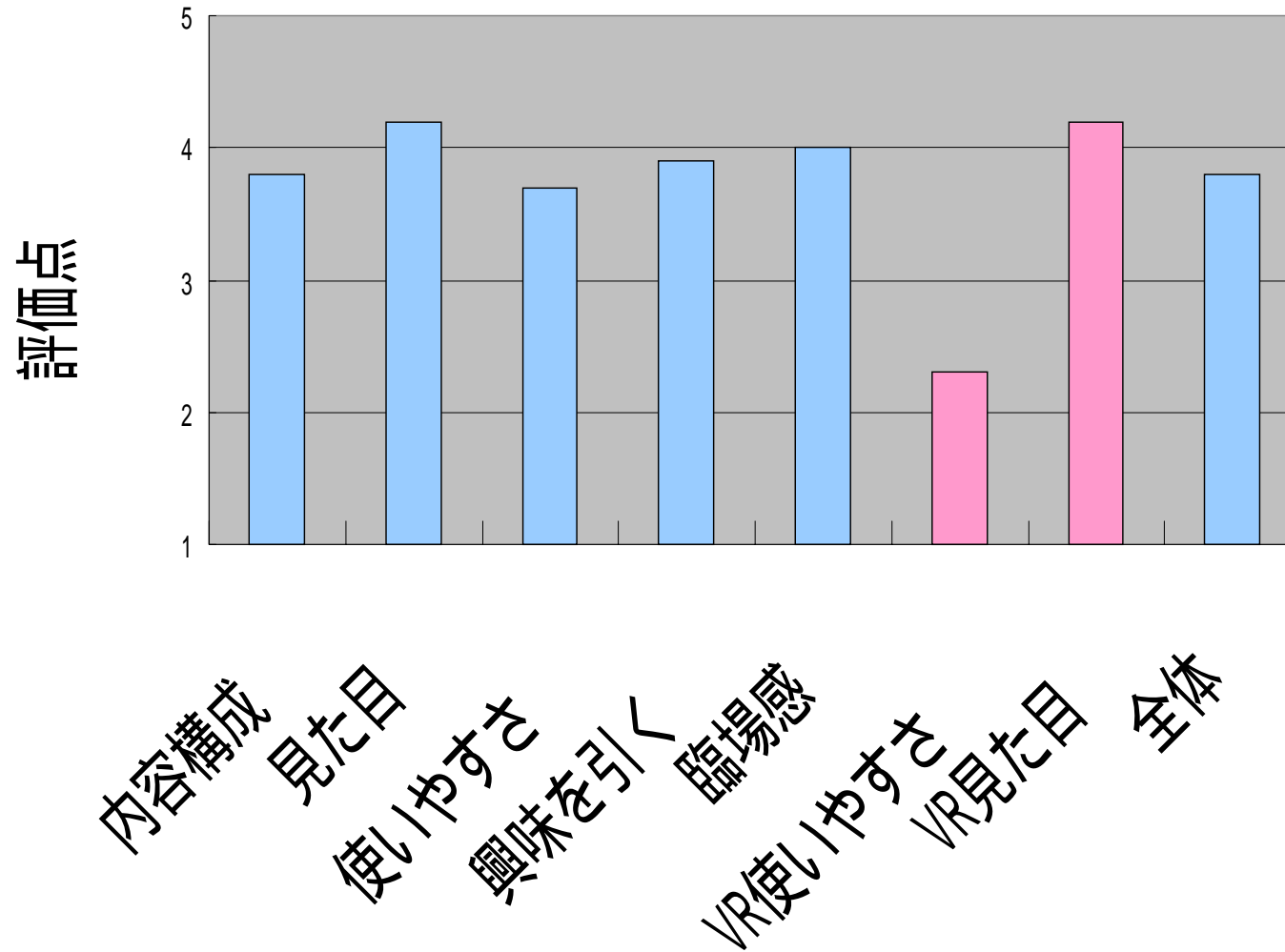
評価結果



大学案内 システム実演

アンケート結果2

評価結果



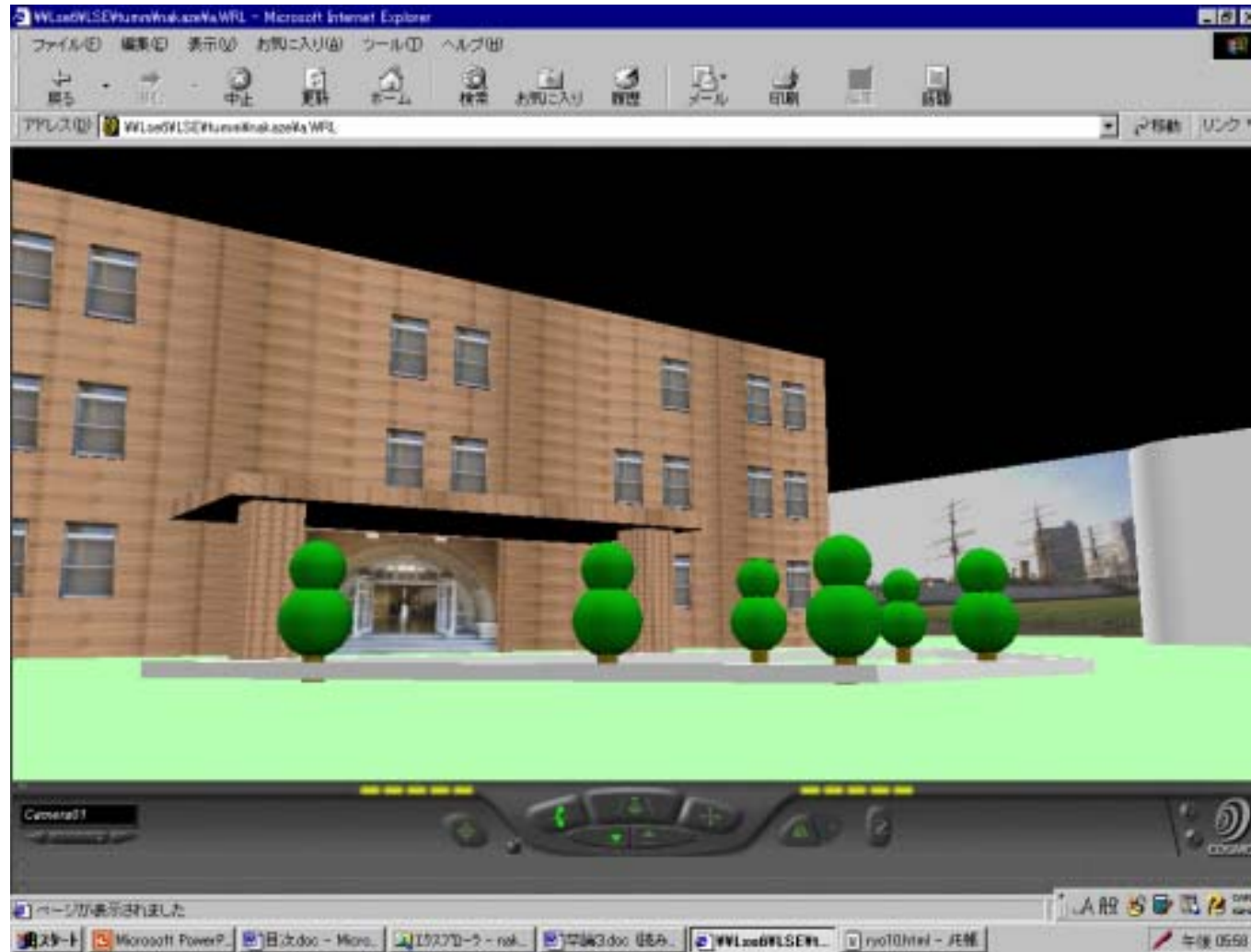
まとめ

- 今まで表現できなかつた臨場感が表現できた。
- トップページは重要
- VRMLのデータロード時間が長い。

今後の課題

- VRML部分について
- システム全体の向上

VR大学キャンパス



VR航海学科実習棟2階



トップページ変更



大学周辺360°パノラマ

